

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	思いや意向の把握について、日々の気づきの中での発見が口頭での申し送りが中心なので、情報を知らない職員がいたり、時間が経過する事で忘れる事がある。	利用者に関わる職員全員が、利用者の思いを知ることで、一人一人の「その人らしい生活」を送ってもらえるように取り組みを行なう。	利用者の思いを職員全員が把握できるように記録に残し、振り返り閲覧できるように環境作りを行なう。	12ヶ月
2	6	グループホームの玄関には鍵がかかっており、利用者が自由に入出入りすることが出来ない。	鍵を開ける事ができる時間を検討し、鍵を開ける取り組みを行なう。	1日の中で職員の多い時間帯等で、鍵を開ける時間を設ける。	12ヶ月
3	1	グループホームの理念を家族や地域の方に理解、指示されていない。	法人やグループホームだけの理念にせず、家族や地域の方にも理念を理解していただけるようにする。	年間4回発行される広報にグループホームの理念を載せ活動状況を載せる。また、家族会や運営推進会議においてもグループホームの理念や目標を伝える場を設け理解されるようにする。	12ヶ月
4	35	火災や地震等の災害時に向けての昼夜の避難訓練を職員全員が身につけ、地域の方にも協力してもらえるような体制作りが必要である。	避難訓練では夜間想定の実施し、人が少ない時の訓練を実施する。また、地域の方と一緒に避難訓練を実施できるように取り組みを行なう。	年間3回は夜間想定の実施を行う。運営推進会議で災害時の避難訓練について実施の提案をし年回1回程度地域の方との避難訓練が実施できるよう働きかける。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。